

シャフルボードの概要

横浜シャフルボード協会

Homepage : <http://ysa3.web.fc2.com/>

内容

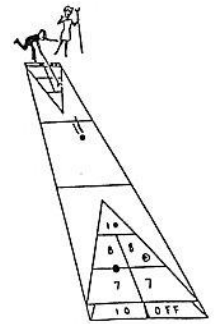
1	当協会の紹介	11	ゲームの進行及びスコアボード記入方法
2	シャフルボードのプレーの概要	12	シャフルボードの基本技術
3	シャフルボード小史	12-1	先攻の定石 (予めガードを置く)
4	横浜市営のシャフルボード・コート	12-2	予め置いたガードへの対応
5	コートと用具	12-3	競技に勝つ基本戦法
6	得点エリアと得点	12-4	ダブル得点
7	ディスクをシュートする位置	12-5	相手がシュートする経路を塞ぐブロック
8	キューの持ち方	12-6	自分の得点ディスクを守るカバー
9	ディスクをシュートする方法	13	プレーの写真
10	ゲームの種類	14	シャフルボードの技術資料

1. 当協会の紹介

横浜シャフルボード協会 (略称 YSA) は、都筑区葛が谷公園内、市営シャフルボード・コートでプレーを楽しんでいる、1988年創立、会員約90名の団体。入会金1,000円、年会費1,000円。

2. シャフルボードのプレーの概要

シャフルボードは、ボーリングのレーンのような細長く両脇にガターがあるコートで、2人のプレーヤーが、1人はイエロー、1人はブラックのディスク (小型円盤) 各4枚を、交互にキュー (押し棒) でシュートして、コートの向う端の得点エリアに入れる点取りゲームのスポーツ。



競技はスコアボードのある側のコート端 (コート・ヘッド) から始める。イエローのプレーヤー先攻で、2人が各4枚のディスクをシュートした後、得点エリアに残ったディスクの色別の総得点をスコアボードに記入して第1フレームが終わる。コートの反対側 (コート・フット) へ行き、ブラックのプレーヤー先攻で同様にプレーして、色別の総得点と第1フレームの得点との合計得点を、スコアボードに記入して第2フレームが終わる。このプレーを所定のフレーム数、例えば12又は16フレーム行い、合計得点が多いプレーヤーが勝者になる。これがウォーキング・シングルスゲーム。ゲームの種類は10項目を参照。

コートはコンクリート製で、コート上面塗装にワックスが塗布してある。コート上に細かいガラスビーズを撒くので、キューで押したディスクは良く滑る。カーリングと同様な戦法でプレーを行う。腕力や体力が不要で、戦法を絶えず考えてプレーする中高年者向けの楽しいスポーツである。

3. シャフルボード小史

シャフルボードは、英国諸島で古くから行われたゲームが起源と言われている。15世紀に銀貨を押すゲームがあり、18世紀には泥を固めたコートでプレーしたショベルボードがあった。

1870年、シャフルボードはイングランドとオーストラリア間の定期船の甲板スポーツになり、世界中の客船で行われるようになった。

1913年、船でプレーしたフロリダのホテルのオーナーが、ホテルの庭にシャフルボード・コートを作った。やがて陸上の人気スポーツになって、フロリダから米国中に広がった。1931年、米国ナショナル・シャフルボード協会が設立されて、コート、用具、ルールが統一されて近代シャフルボードが発展した。アメリカ、カナダで特に盛んだが、世界各国に次第に普及している。

日本にシャフルボードが紹介されたのは、戦後間もなく、国際基督教大学の宣教師が校内にコート2面を作った時と言われている。現在は、屋外のコンクリート製コートでプレーするグループと、可搬式コートを体育館に敷いてプレーするグループがあるが、正規のコンクリート製コートも可搬式コートも少ないので、プレーヤーは未だ少ない。

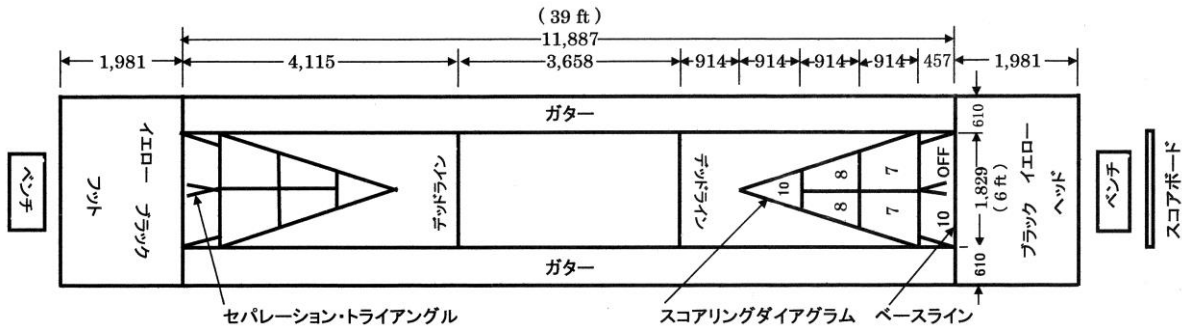
4. 横浜市営の正規のコンクリート製コート

都筑区	葛が谷公園	12面
戸塚区	戸塚柏桜荘	3面
西区	平沼さわやか公園	2面
泉区	泉スポーツセンター	2面

5. コートと用具

5-1 正規のコンクリート製コート

(寸法単位は mm)



5-2 可搬式コート (体育館に敷設して使う。)

(1) ビニール製コート

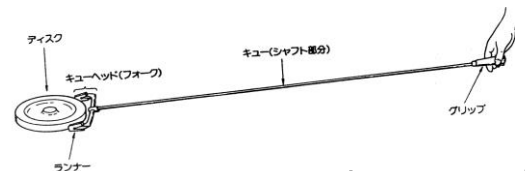
- ① 米国製：コート表面にプラスチック製ビーズを撒布するのでディスクが良く滑り、正規のコンクリート製コートと同様なプレーができる。1セット購入し、普及活動につかっている。
- ② 日本製：日本レクリエーション協会販売。ディスク裏面にシリコンプレー塗布。滑りは不十分だが、プレーを楽しむことができる。

(2) プラスチック製組立式コート (米国製：横浜市助成金で1セット購入。普及活動に使っている)

30cm×30cm のタイルを嵌め込み連結して組立てる。屋外でも使用可能。タイル表面の特殊形状とディスクの底面に塗布するワックスにより、ディスクが良く滑って、本格的プレーができる。

5-3 ディスク(Disc)とキュー (Cue)

ディスクは、イエローとブラックを各 4 枚使う。直径約 15cm、厚さ約 2.5cm のプラスチック製。ディスクをシュートするキューは、全長が約 190cm。シャフトは、材質は各種あり、1 本物と 2 本物がある。

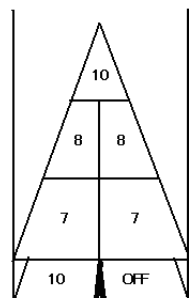


5-4 ビーズ

コンクリート製コートは、球形のガラスビーズを全面に薄く撒く。ビニール製コートはプラスチックビーズを撒く。

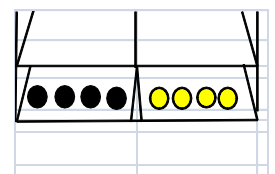
6. 得点エリア (スコアリングダイアグラム) と得点

コートの両端に、得点エリアがあり、その中に、10 点、8 点、7 点、10-OFF (マイナス 10 点エリア)がある。ディスクが、この得点エリアに、ラインに触れないで入ると得点。但し、10-OFF エリア内のディスクを置く場所を分ける三角形 (セパレーション・トライアングル) に触れても、マイナス 10 点。



7. ディスクをシュートする位置

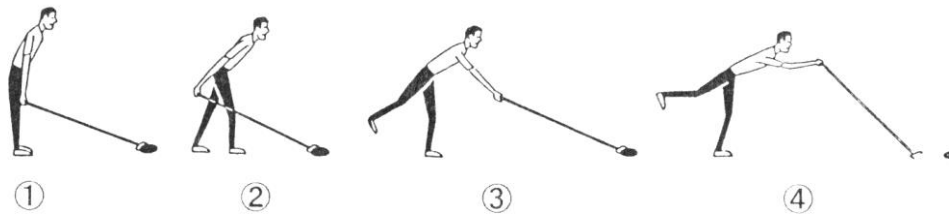
得点エリアの中の 10-OFF エリアがスタートエリアを兼ねている。スタートエリアの中にイエローディスクを、コート・ヘッドでは右側に、コートフットではヘッドと同じ側に並べる。ディスクは全て、ラインや真ん中にあるセパレーション・トライアングルに触れないように置く。ディスクは、目標を狙うのに最適の位置からシュートする。



8. キューの持ち方

グリップを、真上から指先で軽く持つ。エイミングからフォロースルー迄のシュート中に、キューとキューを持つ腕との角度が変化し続けるので、手の中でグリップが動く。その動きを妨げないように、指先で軽く持つ。手の平で握ってはならない。

9. ディスクをシュートする方法



① 狙いを定める (エイミング)

キューグリップを指先で軽く持ち、キューヘッドをディスクにセットする。両足を揃えて立ち、キューを持つ右腕を伸ばして下ろして、狙いを定める。

② 右足 (右利きの人) を1歩前にステップする

キューを持つ右腕を①の位置に残したまま、右足を1歩、前方にステップする。

③ 左足を1歩前にステップしてから、シュートする

キューを持つ右腕を①の位置に残したまま左足を1歩前方にステップし、伸ばして下ろしていた右腕を伸ばしたまま前方に振って、キューを目標に向けて押し出す。ディスクがシュートされる。

④ フォロースルー

シュート中に重心を左足 (前足) に移しながら、キューヘッドを目標に近づけるように右腕を前方に振るフォロースルーを行う。エイミングからフォロースルーまで、目標を見つめる。

10. ゲームの種類

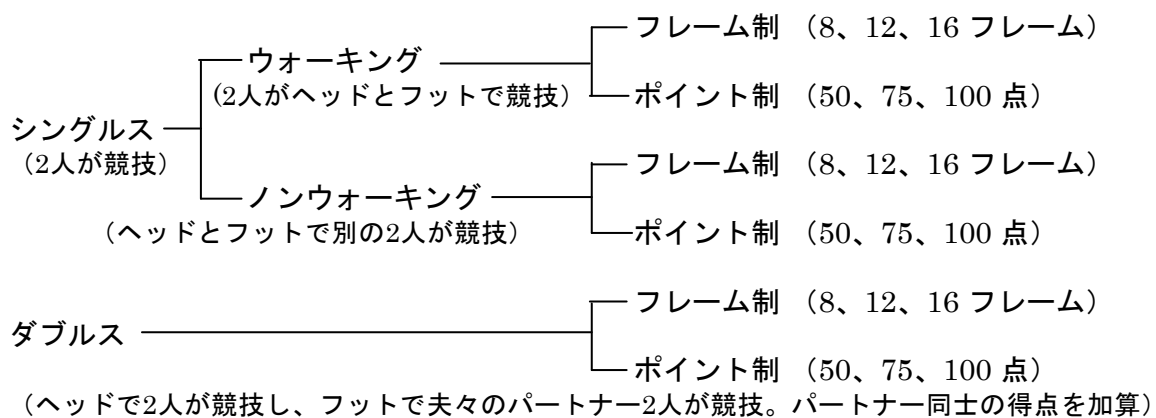
(1) 2人で競技するシングルスゲームと、4人で競技するダブルスゲームがある。

(2) シングルスゲームには、2人がヘッドとフットを往復して競技するウォーキング・シングルスゲームと、ヘッドとフットで別の2人が別の競技を行うノンウォーキング・シングルスゲームがある。

(3) フレーム制ゲームとポイント制ゲームがある。

フレーム制ゲームは、所定のフレーム数の競技を完了した時に、得点が多いプレーヤーが勝者になるゲームで、日本でよく行われている。

ポイント制ゲームは、あるフレームが終了時に、所定の得点に達したプレーヤーがゲームの勝者になるゲームで、1試合が3ゲーム2戦先勝制で行われる。米国とカナダの公式トーナメントは全てポイント制で行われている。



11. ゲームの進行及びとスコアボード記入方法

ウォーキング・シングルス・16フレームゲーム（AとBが競技）の例

1つのコートで、2人が競技を行う。2人は、コートのヘッドでプレーし、次にコートのフットに行ってプレーする。この往復を繰り返えしながら、16フレームのプレーを行う。

- ① 第1フレームは、2人がヘッドで、イエローが先攻で交互に各4枚のディスクをシュートした後、得点ディスクの総得点（フレームの得点）を、スコアボードに記入する。
- ② 第2フレームは、2人がフットで、ブラック先攻で交互に各4枚のディスクをシュートした後、そのフレームの得点と、第1フレームとの累計得点をスコアボードに記入する。
- ③ 第3フレームはヘッドでイエローが先攻。以下同様に第8フレームまで続ける。
- ④ 第8フレーム終了後、2人はイエローとブラックの位置を交代する（カラーチェンジ）。
- ⑤ 第9フレームはヘッドで、イエローが先攻。
- ⑥ 第16フレーム終了後の、累計得点が多いプレーヤーが勝者。

前半	A	7	7	(10)	10	0	14	7	8	
		7	14	4	14	14	28	35	43	
	B	8	0	15	0	7	(3)	7	0	
		8	8	23	23	30	27	34	34	
後半	B	0	8	7	0	7	10	7	7	Bが勝者
		34	42	49	49	56	66	73	80	
	A	7	(10)	14	0	8	(2)	15	0	
		50	40	54	54	62	60	75	75	

12. シャフルボードの基本技術

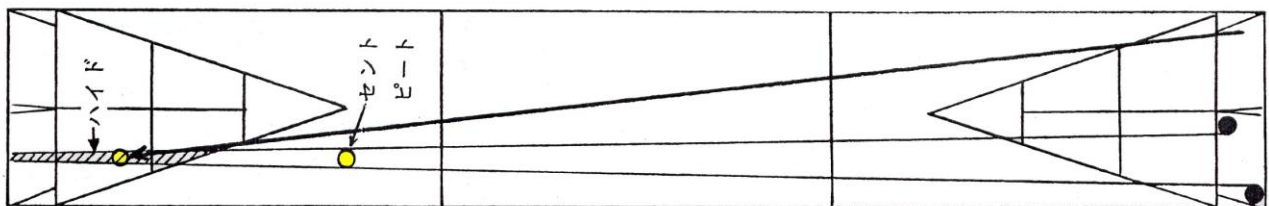
12-1 先攻の定石（予めガードを置く）

先攻が得点エリアに得点しても、無防備なので後攻に突き出されて、このフレームで得点するチャンスがない。そこで先攻は、第1ショットで、次のショットを背後に隠して防御するガードを置く。この予め置くガードには、セントピートとタンパがある。後攻はガードを除去するショットを行うが、当てそこなったり、自分のキューディスクをガードディスクの正面に当てて残すと、先攻は残ったディスクの背後の相手の死角エリア（ハイド）に得点する。

ガードを除去された時は、先攻は自分の第2、第3ディスクでもガードを置き相手のミスを待つ。これが先攻の定石。

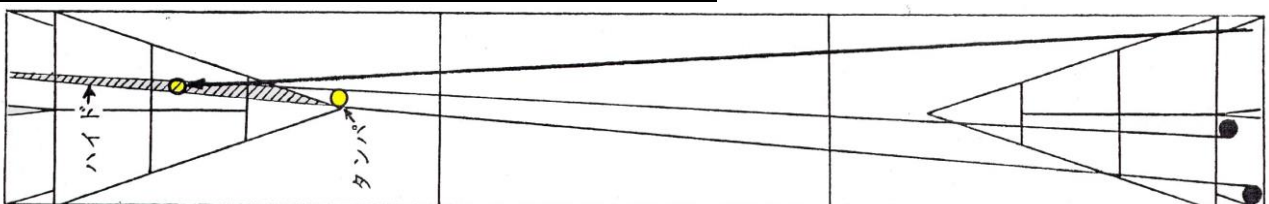
フロリダ州ブラデントン市の北に、入江を挟んで、左にセントピータースバーグ市（略称セントピート）、右にタンパ市がある。両市が2つのガードの位置に似ているのでガードの名称になった。

(1) セントピート・ガード（略称：セントピート）を置く（第1図）



第1図

(2) タンパ・ガード（略称：タンパ）を置く（第2図）



第2図

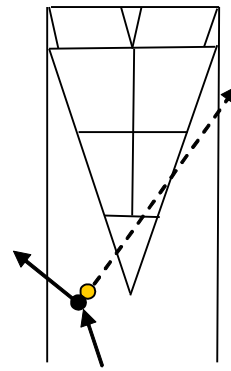
12-2 予め置くガードへの対応

(1) セントピート・ガードへの対応例 (第3図)

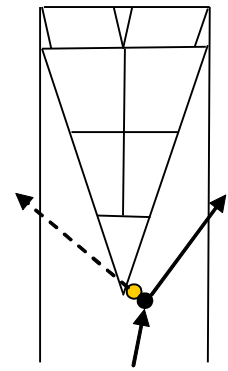
ガードを除去する。相手が利用しないように、セントピート・ガードも自分がシュートしたディスクもコート上に残さない。

(2) タンパ・ガードへの対応 (第4図)

ガードを除去する。相手が利用しないように、タンパ・ガードも自分がシュートしたディスクもコート上に残さない。



第3図



第4図

12-3. ゲームに勝つ基本戦法

(1) 先攻のプレイヤー

ほぼ同点か、リードしている時は、予め、セントピート又はタンパのガードを置き、相手がそのガードをクリア（取り除くこと）し損なった際に、残ったガードの背後に得点する。

大きくリードされた時は、オープンエリアに得点ディスクを置き、それに当てて残した相手のキューディスクを、キッチン（10-OFF エリア）に入れて減点させる。この囲（おとり）として置く得点ディスクをキッチンベイトと言い、挽回を図る起死回生の戦略である。

(2) 後攻のプレイヤー

ほぼ同点か、リードしている時は、対戦相手が置いたセントピートやタンパをクリアし、自分のキューディスクも残さない（クリア・ザ・ボードと言う）。そのフレームはクリア・ザ・ボードを繰り返し、ハンマー（フレームの最後の第8ショットのこと）で得点する。

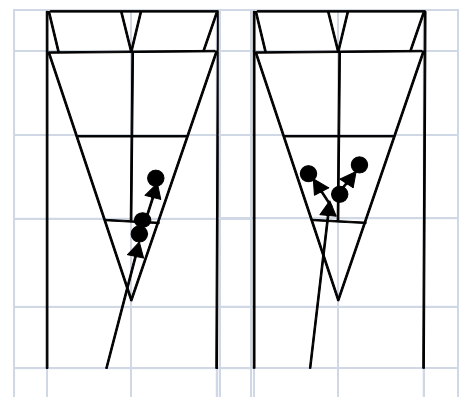
大きくリードされた際は、「先攻のプレイヤー」の場合と同様に、オープンエリアに得点ディスクを置くキッチンベイト戦略で、挽回を図る。

(3) 相手の得点ディスクとライナーは取り除く

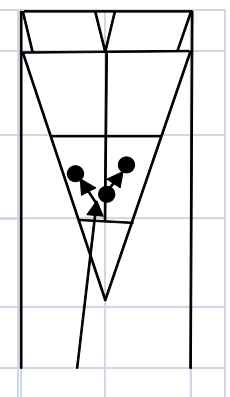
相手の得点ディスクは、プレー中は取り除き、ハンマーではキッチンに入れようとしながら、自分は得点する。スコアリングダイアグラム内の相手のライン上のディスク（ライナーと言う）は放置すると、相手がダブル得点する恐れがあるので、プレー中は取り除く。

12-4 ダブル得点 (第5図、第6図)

ライン上の自分のディスクに当てて得点にし、シュートしたキューディスクも得点にする。第5図は8/10 ラインダブル。第6図はセンターラインダブル。



第5図



第6図

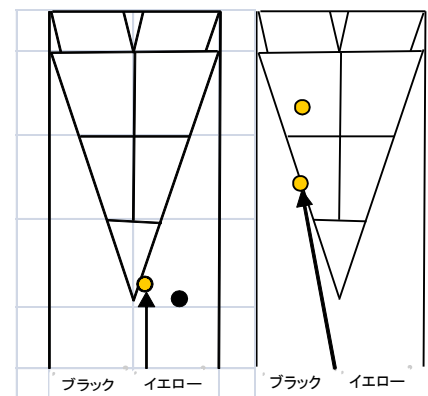
12-5 相手がシュートする経路を塞ぐブロック (第7図)

ブラックがセントピートの背後に得点するのを防ぐため、イエローが、ブラックのセントピートの内側のブラックのシュート経路を塞ぐブロック・ディスクを置いた例。

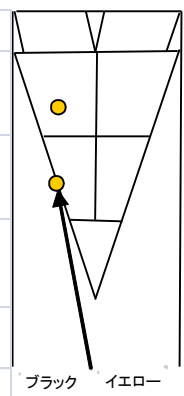
。

12-6 自分の得点ディスクを守るカバー (第8図)

イエローが、自分の得点ディスクを守るカバー・ディスクを置いた例。



第7図



第8図

13. プレーの写真



横浜市都筑区葛が谷公園コート



クイーンメリーⅡ世号甲板



初期の甲板のスコアリングダイアグラム

14. シャフルボードの技術資料

14-1 当協会のホームページ(<http://ysa3.web.fc2.com/>)に掲載している当協会作成資料

- (1) 横浜シャフルボード協会競技規定
(米国ナショナル・シャフルボード協会競技規定に準拠)
- (2) シャフルボード基本技術
- (3) シャフルボードの概要
- (4) シャフルボード・コーチ (シャフルボードの具体的戦法)
- (5) 可搬式シャフルボードコート紹介

14-2 ミニ工房“くみ”(<http://sks.la.coocan.jp>)掲載のシャフルボード技術資料

- (1) シャフルボードの用語解説
米国・カナダで、シャフルボード・プレー中に使っている用語「148の用語」を、図を用いて解説した。(著者：薩川)

以上